

洋画家・刺しゅう画家 荒木千恵子美術館を開館します

洋画家・刺しゅう画家の荒木千恵子氏より令和8年3月に寄贈された作品を展示する美術館をぐんま未来大学ホールPAL(笠懸野文化ホール)ホワイエに開館します。

本館は、荒木氏の「みどり市の教育文化の向上に役立ちたい」という想いのもと寄贈された作品を、市民の皆様に広く親しんでいただくために開設するものです。伝統的な日本の文化と造形美、異国情緒あふれる街並みや人々を、荒木氏の繊細な刺しゅうの世界で表現しています。



■荒木千恵子氏プロフィール

刺しゅう絵画の第一人者：桐生女子高校を卒業後、女子美術大学で油彩を学び、家業の刺しゅう技術を融合させた独自の「刺繍絵画」を確立

主な受章歴：「現代の名工」（卓越した技能者）選出、「黄綬褒章」受章

みどり市との関わり：絵画の寄贈に加え、令和5年度より「MIDORI ジュニアアカデミー」講師として、多くの子どもたちへ直接指導を行うなど、本市の文化教育に貢献

■展示の見どころ

寄贈された70点近くの絵画の中から常時30点ほど展示します（年2回展示替え予定）。

1階 幽玄の世界を演出した能舞台や、京の舞妓、源義経などの歴史上の人物を題材にした刺しゅう絵画を展示。

2階 ヨーロッパやメキシコの街の風景、四季折々の草花、タイ族やサバンナなどの民族衣装をまとった人々など世界中を取材し制作した作品（刺しゅう・パステル・水彩など）を展示。また、荒木氏が実際に制作に使用したミシンや糸、客間の様子など、制作環境を再現したアトリエの風景など、ここでしか見られない貴重な資料も公開します。

■施設概要

オープン日：令和8年10月1日（木）

所在地：ぐんま未来大学ホールP A L（笠懸野文化ホール）

開館時間：午前9時～午後4時30分

入館料：無料

入館方法：ホール内事務室職員へお声がけください（入館無料）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、年末年始（12月27日～1月5日）

※都合により臨時休館する場合があります。

■パステル画教室の開催

荒木氏の子どもたちへの想いを継承し、荒木氏のお弟子様を講師に迎え、定期的にパステル画教室を開催します。詳細については決定し次第、市ホームページに掲載します。

問い合わせ

みどり市 教育部 社会教育課

TEL 0277-76-9846

Email shakai-k@city.midori.gunma.jp



みどモス